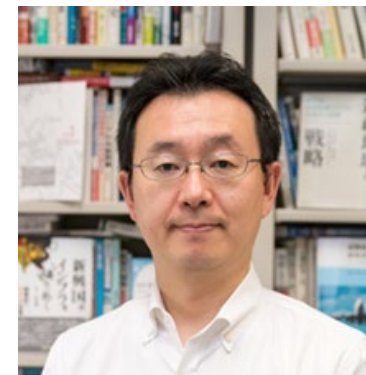


< 講師ご紹介 >

加藤 浩徳

東京大学大学院工学系研究科 教授
運輸総合研究所 研究アドバイザー



<略歴>

1993年東京大学工学部土木工学科卒業。1995年同大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程を修了。1999年博士(工学)取得。東京大学助手(1995年)、(財)運輸政策研究機構調査役(1998年)、東京大学専任講師(2000年)、同准教授(2004年)を経て、2013年より東京大学大学院工学系研究科教授。

日本交通学会賞(2014年)、米谷・佐佐木賞(2014年)、東アジア交通学会(EASTS)ベストペーパー賞(2015, 2019年)、東京大学工学部ベストティーチングアワード(2018年)等を受賞。代表的な著書は、「交通の時間価値の理論と実際」(技報堂出版, 2013年)、「メガシティとサステナビリティ」(東京大学出版会, 2016年)、「Global Logistics Network Modelling and Policy: Quantification and Analysis for International Freight」(Elsevier, 2020年)等。

交通政策審議会(国土交通省)専門委員(2015年～)、政策評価審議会(総務省)専門委員(2015年～)、Asian Transport Studies誌編集長(2016年～)等を務める。2016年より運輸総合研究所アドバイザー。

専門分野は、交通計画・政策、国際プロジェクト学。